

お江戸見たけりや佐原へござれ、佐原本町江戸優り♪

東洋一のハナショウブと水郷佐原の散策

「北総の小江戸」と呼ばれる千葉県香取市佐原(さわら)地区。かつて利根川の水運を利用した物流の要衝として大いに繁栄した佐原は「江戸優り」とうたわれるほど栄えていました。町の中心部・小野川沿いには文化の花が開いた往時の面影が残り、その町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。佐原出身の偉人・伊能忠敬ゆかりの地、水郷佐原に群生するハナショウブは東洋一とも言われています。サッパ舟に乗って名勝十二橋めぐりや佐原の町並み散策、そして日本初の実測による日本全図を完成させた「チュウケイさん」の人間力にふれるお出かけはいかがでしょうか。



サッパ舟でいく十二橋めぐり



風情漂う古い町並みの佐原

伊能忠敬(1745-1818)

49歳で家督を譲り隠居の身となつてからは天文学を志し、江戸に居を移すと50歳にして第二の人生が始まります。幕府天文方の高橋至時に師事し、55歳の時ついに全国測量の旅に出ます。17年間の測量を終え、教科書でもお馴染み日本初の実測による全国地図「大日本沿海輿地(ようち)全図」が完成します。

伊能家は佐原で代々名主を務める家柄で、治水工事のための測量技術が培われていました。また酒造りを営む商家でもあり、親しみを込めて「チュウケイさん」とも呼ばれていました。



伊能忠敬像



旧 水郷佐原水生植物園(6月頃 イメージ)

「カーザ・アルベラータ」にて イタリアンのランチ



カーザ・アルベラータのお食事例(イメージ)

ランチは旧家を改築した「カーザ・アルベラータ」で、地元産の野菜やお肉など、厳選した素材を生かした本格的なイタリアンを

カーザ・アルベラータのお食事例(イメージ) 召し上がっていただけます。

旅行日

2019年6月13日(木)

※お申込み多数の場合は6月12日(水)も募集開始します。

旅行代金

15,000円

募集人員

20名様(最少催行人員15名様)

8:30 東京駅丸の内口出発 → 水郷佐原あやめパークでハナショウブ鑑賞 → サッパ舟による十二橋めぐり → カーザ・アルベラータ → 日本遺産佐原の町並み散策 → 18:00~18:30ごろ解散

添乗員/同行してお世話します。 食事/昼食1回

集合場所/東京駅丸の内口 出発時間/午前8時30分出発

交通機関/小型またはマイクロ貸切バス

(予定運行会社:IBS・セイフェティ等)